



例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/富山銀行福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ふくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

千差万別です。日程がつかない場合は出張先で受講する、1年で全て受講できなくてもキャリアオーバーできるなど工夫されています。ぜひ、お勧めします。

◆幹事報告 山田 孝幹事

①新湊RCより例会変更の案内を受領  
※9/26(木)職業奉仕セミナーはメーキャップ対象となります。

◆委員会など関連事項報告

★「14才の挑戦」について 荒井 進会員  
9/18城端中学にて行われた会合に出席してきました。学校・PTAより謝意があり、受入企業の方々に生徒が経験する意義とか、相互の留意点など話し合い、質問も2・3してきました。

★友好交流委員会 片山浩一副委員長  
以前よりご案内をしております11/9(土)富士見RCの45周年記念祝賀会に、是非、ご都合をつけてください。お一人でも多くの参加を願っております。よろしくお願ひします。

☆ ニコニコボックス 9/24 山田喜代美委員長

- 川合君 昨日東京駅グランスタの臨時売店での販売終了しました。社員の皆さんも体験販売。すごく良い体験でした。感謝です。澤田ガバナー補佐、卓話ありがとうございます。
- 澤田君 金沢おどり、大変素晴しかったです。八しげの真砂美さん、涼香さん、かつ代さん、中むらの唐子さん、八乃福の福太郎さん、小梅さん、春の家の美月さん、あか利さん、ご苦労様でした。
- 荒井君 台風一過、日本酒がおいしくなりました。澤田喜朗ガバナー補佐、お役目ご苦労様でございます。
- 三吉君 夏はあつくて大変つづかれましたが、成政のお酒で元気が出てきてうれしい……ね。
- 尾山君 昨日、強風、フェーン現象の中でのゴルフ、いつまでも暑いです。ペットボトル4本水分補給しました。
- 税光君 全ての農作業が終わり、ホッとしています。後は冬眠のみでしょうか!!
- 松井君 台風、たいした事なく良かったです。一方、千葉県の方では、大変な被害がまだまだで、始末がついていない様子、お見舞い申し上げます。
- 松村君 ゆうべ偶然にBSテレビで百名山を見ました。南アルプスの光岳(テカリダケ約2500m)で、私は50年前の5月の連休に登りました。その時は知りませんでした、当クラブはチャーターナイトの準備で大忙しの時でした。
- 久恵君 来週はタイ視察旅行で欠席します。
- 船藤君 台風もたいした事なくて、でも木村の梨はどうだったかな?
- 野村君 W杯ラグビー日本・ベスト8へ がんばれ!
- 牧君 澤田ガバナー補佐、ご苦労様です。原稿の方もお願いします。
- 片山浩君 富士見RC記念式典に多くの方の出席を宜しくお願ひ致します。
- 安居君 少しづつですが、お昼を食べに来るのが楽しみになってきました。
- 谷村君 弊社9月より発送部門にて欠員があり、トラックにて配達の手伝いなどしていたら、3kg減量に成功しました。
- 木村君 台風17号の被害がなくて助かりました。なんとか首が繋がってます。これからも風が強く吹かない様に。ナマダブツ…。
- 松本君 台風通過後も見事にコスモスが咲いています。見習わなくては。山田喜君 2回目の三連休は、私の妹、孫(外)とその旦那さん、甥っ子4名様御一行、今朝川崎に帰って行きました。久しぶりに楽しい3日間でした。
- 大西君 本日早めに来ましたが……早退します。

本日のプログラム 10月1日(火) 第2522回

卓話 担当 会員 森 雄一君

◆出席報告 久恵龍三委員長

会員数	9月24日出席率	9月10日の修正
49 (免除0)	67.34% (欠16)	77.55% (欠11メーク1)

メーキャップ: 岡部一輝君

次回の予定 10月8日(火) 第2523回

卓話 新会員/野村、安居、齊藤、谷村賢の各君  
担当 プログラム委員長 木村伊徳君

撮影 写真同好会 澤田喜朗会員



第2521回例会 令和元年9月24日(火) 曇

- ◆点 鐘 12:30 川合声一会長
- ◆司 会 吉田 実SAA
- ◆ソング 「我等の生業」
- ◆ゲスト 澤田喜朗第4分区ガバナー補佐
- ◆会長の時間 川合声一会長



今日はロータリーリーダーシップ研修会のパート2に参加しての感想とRLI=ロータリーリーダーシップ研修会について、報告します。

○目的は「ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立」研修の特徴として、スパイラル=らせん展開のカリキュラム。

パート1はロータリアンとしての私…会員としての基礎知識

パート2は私たちのクラブ…クラブの内容運営の基本

パート3は私のロータリーの旅…将来ステップ、ロータリーライフの楽しみ方に至る各パートの展開で3つの柱=らせん階段が用意。1つはリーダーシップ、2つは奉仕、3つ目が会員組織と強化が、縦糸のような展開図が示されています。全部で一つのパートで6セッション講座あり、1セッションが50分ですので、6時間授業とすると多少、身を引いてしまいますが、8名前後のディスカッション主体の内容で、すぐに時間が経ってしまふ。

セッションごとにディスカッションリーダーがファシリテーターとして、うまく、質問をしながら、メンバーの発言を引き出す、学校の授業と違い、正解を求めない、互いが意見を出し合い、考えさせる、気づきにみちびく、ディスカッションリーダーの役割が大切。

さて、今回のパート2に参加しての感想気づき。

○明るく、楽しく、元気なクラブ…クラブの活性化が普遍的テーマ。各クラブのチームとしてコミュニケーションの工夫が各事例として分かち合い、特に、委員会活動を活発化して、チーム全体のコミュニケーションを良くする。

・15名から20名の小規模クラブ ・50名前後の中規模クラブ ・100名を超える大規模クラブ

と規模の大小もあり、新入会員が増えているクラブ、逆に、ベテラン会員の比率が高いクラブ、中堅年代のごく少ないクラブなど多彩。

私が参加した各セッションのディスカッションでは

- ・珠洲クラブは入会して3年目に会長の悩み、
- ・都市型クラブでは大人数故に、ベテラン会員への調整や新入会員への配慮など。チームとしてのクラブを運営、活性化していくうえでの悩み事がオープンに議論ディスカッションする。

○それぞれがメインテーマあるいは目標を掲げて、特徴のあるクラブ運営。

・黒部中央では市内の古民家を改修して、自前のクラブハウスを設けることに、そのプロセスで苦勞もあり、チームとして一丸となつてなしたことで活性化。

・白山石川では青少年交換プログラムに力点を置く。英語教室の開催支援。交換留学生との帰国後の付き合いの継続。

・献血を会員企業に呼びかけ、定期的な行事にして、一体感を作る。など

○2016の規定審議委員会でのクラブの運営に関する自由度が設けられる、この内容を再確認して、例会や委員会活動の在り方にも従来の発想を変えていくことも必要。当然クラブ固有の長所は保持していくことは大切である。

○クラブの戦略計画作成委員会を立ち上げ、これからの3・5年先の姿を描く。どのようなテーマ、特に、南砺クラブの今まで培ってきた青少年奉仕活動や米山奨学生支援など若い世代とのかかわりを増進していく、など将来に向けてのテーマを議論する場をつくる必要を感じます。

最後に、今回の参加メンバーは多くが会長エレクトや幹事。また、あまりロータリー歴の浅い方、年数はとっているが学びなおしを動機にしている方など



《前略》さて本題ですが この今年度のマローニー会長のテーマは“ロータリーは世界を繋ぐ”ということですね。【ROTARY CONNECTS THE WORLD】と掲示され、そのビジョンはですね、《我々は世界で そしてまた地域社会で 自分自身の中で持続可能なより良い変化をもたらすように周りの人と手を取り合って行動しよう》という事で、マローニーRI会長は行動するという事を強調されています。

そしてまたロータリーファミリーをもっと多くしようという事もいわれています。このロータリーファミリーは、ロータリーアクト、インターアクトそしてまた学友そして会員の家族、会員の友人を迄広げ、ロータリーファミリーの方をイベントは勿論の事、通常の例会にも呼び込み、そういった方を会員にしようということでもあります。

職業分類は実質的には制限が無くなりました。善良で高潔でリーダーシップが有る会員を増やしていきたいと思えます。これはいろんな面で入会金を0にするとか、年会費を半分程度にするとかも必要かなという事です。あるクラブでは年会費を半分にして、年会費においてもこれは最低限食事代、それから人頭分担当金というのは、年間68ドル、地区への分担金16,000円、そういった分担金も含めて最低限は必要であります。いずれにしろ半分程度にするのは段々増えつつある。今のように同じ同一家族、同一会社の場合にはそのようにするという事、今年度、宇奈月RCが10何名でしたが、7月から9名を増やしたと、これは1年目には年会費を半分にして、2年目からは元に戻すことから、2年目からはどうなのかなという感じもありますが、いずれにしても工夫をしている所も有るという事でもあります。

松本ガバナーは非常に頭脳明晰の方ですけれども、地区活動方針は「one step ahead」《一歩前進しよう》で 前年踏襲は後退に他ならないという事です。3歩進んで2歩後退でもいいと、とにかく1歩前進しようという事でもあります。

地区の重点課題と申しますと4つありまして

- ①「クラブにおける戦略計画の策定」 ②「マイロータリーの登録の推進」 ③「リーダー育成の観点からRLIへの参加」  
④「ロータリー賞への挑戦を推奨」の4つです。

クラブの戦略計画をお作りになる時に参考にされたいと思うんですけども非常に抽象的な4つの優先事項というのがっております。1つ目はより大きなインパクトをもたらすという事。これは公共イメージと認知度の拡大につながるもの。2つ目は参加者の基盤を広げるという事で、参加者というのは ロータリーファミリーという事で会員だけではなくロータリーファミリーまでも広げたいもので会員の増強を図ろうという事、そして3つ目は参加者の積極的なかわりを促す。これは親睦につながっている。4つ目が適応力を高めようという事で、これは多様な会員に魅力を感じてもらおうという事で変化に対する対応、柔軟性という事でもあります。これは、例えば月2回以上の例会であればいいとか、入会金は0でもいいとか、出席率もゆるやかに、そしてまた職業分類は実質的には制限はなしとか、それからまたメーキャップの範囲もですね年度内でOKというこういった面でも適応力を高めてロータリーファミリーを増やしていこうと…。実はこれRからの優先事項としてあげられていますが、今回の地区の戦略計画はRのものをそのまま引き継ぐのではなくて今回は自分たちの手で作ろうと、そしてできれば具体的な課題を解決する、改革をするという方向で進めることであります。数値目標につきましては地区の会員の人数ですが、今現在2,700人です。これを3,000名に増やしたいという事ですから5年間で300人増やそうということです。で 2610地区は64クラブ有りますから、毎年1名ずつ純増で5年間でちょうど300人ちょっとになってきます。

それからマイロータリーの登録率ですが当クラブは、地区の平均的とほぼ同じで30数%です。それを60%以上を目指そうという事です。なぜ60%だというと昨年度のロータリー賞への挑戦が目標は60%だったのです。もう他の地区では殆ど70%80%となっているのですね。2610地区だけがマイロータリーの登録は非常に遅れているという事でもあります。これはあくまでも手段ですから目的ではありません。ですが、そこから色々なロータリーについての情報、世界中のクラブの奉仕活動、寄付活動等を知ることができる。そしてまた近隣のクラブの情報等についても知ることができる。それを踏まえて自らのクラブに反映させていただきたい。そしてまた自らのロータリーライフを楽しく充実させるためのきっかけにもなりますので、マイロータリーの登録を進めて頂きたいという事です。残念ながら2610地区は数値的なものについては、今まで、クラブの自主的な目標を尊重していったところがあったものですから、今後はもっと意識を高めて、進めようという事を訴えたいという事でございます。そういった事で会員数、マイロータリーの登録率、これを意識的に高めようという事でもあります。そして更にはR財団、米山記念奨学会の寄付金等、これは南砺クラブは非常にきちりとされており、そういった心配はないんじゃないかなという事でございます。いずれにおきましても数値目標について意識を高めて活動をお願いしたいという事です。

そして今地区でやろうとするのは研修部門の強化という事でもあります。実はこれ地区の研修リーダー、今年度は柳生さんが研修リーダーで、来年度は岡部さんが研修リーダーですけれども研修リーダーの下に研修委員会というのを設けてもっともっと地区における研修部門を強化しようという事になってまいります。実は2610地区におきましても研修委員会というのは初めてできるという事になります。来年度から岡部さんの時から強化をされるのかなと思います。例えば研修部門のこういった所がどうなるかという事でもありますけれどもRLI、先程川合会長からあったRLIも研修の活用の一環であろうかなという事でもございます。それから今までもあるものを、例えばクラブ会長の研修、地区協議会、チームリーダー研修、チームリーダーってのはですね地区の委員長、副委員長等の研修、ガバナー補佐の研修、これはガバナーエレクトが中心となって進めていくものなんですけども強化をしていきたい。次期のクラブのクラブ会長のそういった面での研修っていうのは別という事できちっと制定されたものがあるんですけど、クラブの幹事の方の研修はなかったんですね。次期のクラブの幹事の方の研修をきちっとしたものをやっつけよう、比較的経験の浅い方が幹事という面もあるし非常に幹事の仕事の幅は広い。会長の仕事の中身、事務局の仕事の中にまでも理解する必要があるかという事ですから、クラブの幹事の方の役割というのは実は広くて大きいんですけども、そういった所が今までもなおざりにされてきたかなという事です。そういった所をきちっとやっていきたいという事でもあります。それからまた新入会員の研修。新入会員の方はクラブにおいては、ロータリー情報委員会でもってやっておられるわけですけども、これは、地区においても集合研修のような形でやっていきたいという事でもございます。

それからまた事務局員の方の研修も数年に1回はやっていく必要があろうかなということでもあります。新しい方も増えてきています。そういった所の研修も必要かなという事でもあります。

それから次はですね、ガバナー事務所・ガバナー事務所員の固定化ということです。私どもも岡部年度で経験したんですけども、最初のガバナーの事務所、そして事務局員の立上げというのは、とてもエネルギーとパワーを使います。それが毎年毎年、必要になってくるので、それを固定化をしガバナー・ガバナーエレクトが変わっても継続してやっていく必要があります。これは比較的大きなクラブの所は今までガバナーを輩出していますが、小さなクラブにおいても意欲のある方であればガバナーをやっていただくといったところのサポートを行い固定化を進めていこうということです。

今あがってきているのは金沢、高岡、富山の3つの地区が今出てきているんですが1番の最有力は高岡ということなんです。

そういった面が高岡になるかどうかというのはこれからなんですけども、これも地区大会にて発表されるということであろうかと思えます。

それから、青少年の交換委員会、R財団委員会、米山奨学会の委員会等重要なところなんですけれどもこの委員長さんというのは実は長くやってらっしゃったですね。なぜ長くやっているかと実はそういった所の事務局というのは委員長の会社が持っていたんですね。なかなか委員長を変えることができなかったでそういった所をガバナー事務所にいれましてアルバイト0.5人程度でなにか処理ができないかということです。含めてガバナー事務所に集中して処理を進めようということもあります。それから財務上の問題いろんな面で費用が必要になってき時間オーバーになりますね。3つめ交通費ですね。今財務上の問題といえますとある程度圧縮しなければいけないと地区内の移動においては交通費等、ロータリー活動というのはボランティア活動であるということを確認しまして、来年度からなくしましょうということでもあります。

必要になってくるのは地区以外のところの会議費等は、東京等へ行く場合は結構あるんですが地区の委員長とかカウンセラーが行く場合には標準的な交通費を支給する。原則として日帰りということでもあります。2日以上に渡る場合においては標準的な宿泊費を支給する必要がありますけれどもいずれにしろ日帰りでもって対応するという事でもあります。地区内の移動については支給なしという方向にしたい、地区においても具体的に改革をしようといういろんな課題について検討している最中でもあります。この11月の地区大会においても松本ガバナーの方から発表されるということでもあります。私も微力ではありますが地区とクラブとの連携を一層強化いたしまして皆さまのお役にたてるように、クラブのサポート強化を通じてクラブの活性化に尽力してまいります。

今後とも、温かいご支援ご協力よろしく願致します。 ありがとうございます。

(今回の会報担当・谷口和尋)